

防災訓練用対応ケース集

地震災害に関するケース①

災害
種別



テーマ:地震と津波から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある5月の平日、10:00
- ・登園する園児も揃い、それぞれの年齢別クラスに分かれて、その日の活動が始まったまさにその時間。
- ・職員も遅番の保育士まで、揃った状況である。
- ・マグニチュード7を超える、直下型の地震が発生する。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 10:00 ①園内での園児の安全確保
↓
00:00 ②避難経路の確保／避難場所の確認
↓
00:00 ③園の構造物等の点検その他施設の点検
↓
00:00 ④避難場所への避難(園全体)
↓
00:00 ⑤避難後の点呼／安否確認

防災ハンドバック
“地震が起きたら”
(21P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 11:20 ①保護者への連絡方法の確認
12:00 ②保護者への引渡し方法の確認

シナリオ

5月21日10時00分頃、〇〇湾から△△湾を震源とする大規模な地震が突然発生し、県内は震度6弱から震度7の揺れとなった。

地震発生直後に、津波第1波、続いて数回に亘り津波が襲来する。

気象庁は午前10時03分、〇〇県に「大津波警報」を発表した。

タイムスケジュール

地震発生
震度7

余震
発生

津波
発生

停電/電話等
回線障害判明

ライフラインの
支障が判明

保護者
関係者との
連絡不通

保護者の
引渡し要請

10:00

10:08

10:40

10:50

11:00

11:20

12:00



テーマ:地震と火災から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある6月の平日、18:00園児の7割は降園し、延長保育で3割の子どもが残っていた。
- ・夕食を食べている園児が数名おり、職員は4割程度残っているときに地震が発生した。
- ・地震の影響で、火災が発生している。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 18:05 ①園内での園児の安全確保
- ↓
- 00:00 ②避難経路の確保／避難場所の確認
- ↓
- 00:00 ③園の構造物等の点検その他施設の点検
- ↓
- 00:00 ④避難場所への避難(園の中にいる園児と職員)
- ↓
- 00:00 ⑤避難後の点呼／安否確認

防災ハンドバック
“火災が起きたら”
“地震が起きたら”
(20P & 21P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 11:20 ①保護者への連絡方法の確認
- 12:00 ②保護者への引渡し方法の確認

シナリオ

6月3日18時3分頃、近隣の山間部を震源とする大規模な地震が突然発生し、県内は震度5弱から震度6の揺れとなり、地震発生直後に、保育室の電気器具から火災が発生した。余震などにより、いたる所で小規模の火災が多発している。気象庁の情報では津波警報の心配はない。

タイムスケジュール

地震発生
震度6

余震発生

火災発生

停電/電話等
回線障害判明

ライフラインの
支障が判明

保護者
関係者との
連絡不通

保護者の
引渡し要請

18:03

18:09

18:15

18:34

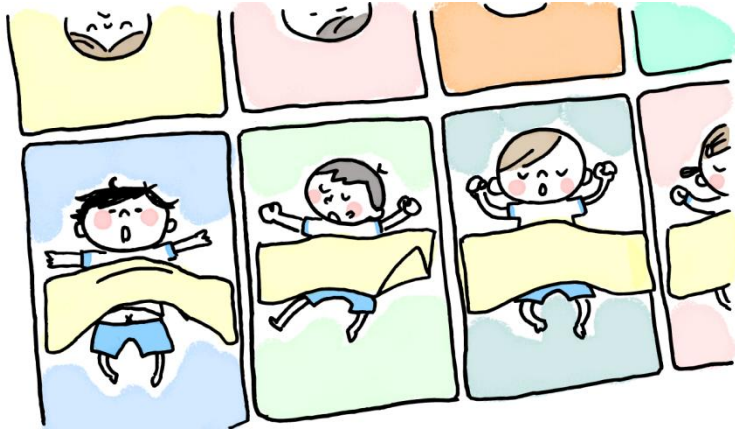
18:50

19:00以降

19:30以降



テーマ:地震と火災から園児の命を守る



【シチュエーション】

- ・ある9月の平日13:00過ぎ、園児の午睡中に地震が発生した。大きな揺れは1分程度続き、その後も余震が度々発生する。
- ・園児は各クラスで午睡中であり、5歳児クラスのみホールで遊んでいた。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 13:00 ①園内での園児の安全確保
- ↓
- 00:00 ②避難経路の確保／避難場所の確認
- ↓
- 00:00 ③園の構造物等の点検その他施設の点検
- ↓
- 00:00 ④避難場所への避難(園の中にいる園児と職員)
- ↓
- 00:00 ⑤避難後の点呼／安否確認

防災ハンドバック
“火災が起きたら”
“地震が起きたら”
(20P & 21P 参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 14:00 ①保護者への連絡方法の確認
- 15:00 ②保護者への引渡し方法の確認

シナリオ

9月8日13時10分頃、〇〇県北中部で震度5強の地震が発生。この地震の影響で、県内の広いエリアで停電等の影響が出ており、各鉄道会社によると、〇〇新幹線や△△線などで運転見合わせや遅れが発生している。保育園近隣には木造住宅が密集しており、火災の被害が広がっている。これにより、近隣の建物に次々と延焼して、保育園にも火災が迫っている。

タイムスケジュール

地震発生
震度5

余震発生
震度3

近隣住宅
で火災発生

停電/電話等
回線障害判明

ライフラインの
支障が判明

保護者
関係者との
連絡不通

保護者の
引渡し要請

13:00

13:15

13:26

13:30

13:50

14:00以降

15:00以降



テーマ:地震から園児の命を守る



【シチュエーション】

- ・運動会当日の日曜日の9:00に大きな揺れが発生。園児・保護者はすでに園庭に集合しており、今まさに運動会が開始されようとしている状況であった。
- ・園関係者の他に、近隣の高齢者施設の方や地域住民を招待しており、多数一般の方がいる状況である。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 09:00 ①運動会参加園児の安全の確保
- ↓
- 00:00 ②避難経路の確保／避難場所の確認
- ↓
- 00:00 ③園の構造物等の点検その他施設の点検
- ↓
- 00:00 ④避難場所への避難(運動会会場が安全ならその場に)
- ↓
- 00:00 ⑤避難後の点呼／安否確認

防災ハンドバック
“地震が起きたら”
(21P参照)

二次的な災害等に対するケーススタディ

- 11:00 ①行事の中止決定
- 15:00 ②保護者への引渡し

シナリオ

11月2日、〇〇県△△地方を震源として発生したM6.8、震源の深さ13kmの直下型の地震が発生。ユーラシアプレート内部で起こった逆断層地震で最大震度7を観測した。余震の揺れが強く、群発地震活動を呈して頻繁に起きた。地震発生直後には広範囲にわたって、停電による影響とライフラインが途絶されている。

タイムスケジュール

地震発生
震度5

保護者、園児、
一般客の混乱対応

断続的
余震発生

停電/電話等
回線障害判明

9:00

9:20

10:00

11:30



テーマ:地震と火災から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある12月の土曜日、8:20
- ・土曜日なので、もともと少ない園児の登園時間帯に地震発生。
- ・土曜日ということもあり、出勤している職員も少ない。
- ・マグニチュード7を超える、直下型の地震が発生する。
- ・地震により、隣家から火災発生。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 8:22
- ①園内での園児、保護者の安全確保
(上から物が落ちてこない場所)
 - ②防災頭巾をかぶらせ、長袖の上着を着せ、靴をはかせる。
 - ③園児、保護者を避難場所へ誘導

防災ハンドバック
“火災が起きたら”
“地震が起きたら”
(20P & 21P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 9:00
- ①テレビなどで正確な情報を把握し、安全を確認後、保護者への引渡し要請連絡
(登園中の保護者に対しては、帰宅の要請)
 - ②保護者への引渡し時の説明方法/内容の検討
 - ③訓練後の評価考察/次回以降への課題抽出

シナリオ

12月14日8時20分頃、〇〇を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生した。この直下型地震により、〇〇湾において約10cm程度と思われる水面の上昇が見られたものの大きな影響はない。しかし、臨海部において、高圧ガス施設から可燃性ガスが漏れいし火災が発生するとともに、余震などにより、市街地のいたる所で小規模な火災が多発している。

タイムスケジュール

地震発生
震度6

余震発生

火災発生

登園途中の
保護者など
パニック状態

園にとどまる保護者や
これから登園する保護者への対応

停電/電話等
回線障害判明

園としての
対応方針決定

8:20

8:30

8:35

8:50

9:00

9:30

10:00

防災訓練用対応ケース集

地震災害に関するケース⑥

災害
種別



テーマ:地震から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある2月の平日、5:00過ぎ、3割程度の園児が既にお迎えを終え、お迎え途中の保護者も数名いる状況である。
- ・職員は十分な数がそろっているが、園を出た職員も数名いる状況である。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 17:20 ①園内での園児、保護者の安全確保
↓
②防災頭巾をかぶらせ、長袖の上着を着せ、靴をはかせる。
↓
③園児、保護者を避難場所へ誘導

防災ハンドバック
“地震が起きたら”
(21P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 17:50 ①テレビなどで正確な情報を把握し、安全を確認後、保護者への引渡し要請連絡
↓
②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討
↓
③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

2月10日、17:17に地震が発生する。
〇〇県沖では太平洋プレートと陸のプレート境界で、M 6.7～7.2の地震が繰り返し発生している。
この地震の影響による津波の心配はない。
しかし、県内全域で停電の影響が出ており、各交通機関に支障が出ている。

タイムスケジュール

地震発生
震度5

余震発生

降園途中の保護者など
パニック状態

園に留まる保護者や
これから降園する保護者への対応

停電/電話等
回線障害判明

園としての
対応方針決定

17:17

17:44

17:55

18:10

18:20

18:30

防災訓練用対応ケース集

地震災害に関するケース⑦

災害
種別



テーマ:地震と津波から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある3月の平日、午睡から目覚める園児が数名いる中で、地震が発生。園児、職員は全員が登園しており、休憩している職員も数名いた。
- ・地震の影響で津波がくる恐れがあり、すぐに避難をしなければ危険な状況である。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 8:22
- ①園内での園児、保護者の安全確保
(上から物が落ちてこない場所)
 - ②防災頭巾をかぶらせ、長袖の上着を着せ、靴をはかせる。
 - ③園児、保護者を避難場所へ誘導

防災ハンドブック
“地震が起きたら”
(21P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 9:00
- ①テレビなどで正確な情報を把握し、安全を確認後、保護者への引渡し要請連絡
(登園中の保護者に対しては、帰宅の要請)
 - ②保護者への引渡し時の説明方法/内容の検討
 - ③訓練後の評価考察/次回以降への課題抽出

シナリオ

3月11日14時46分頃、太平洋〇〇沖を震源として地震が発生した。地震は広範囲で強い揺れに見舞われ、揺れの継続時間が長かった。また、地震によって大規模な津波が発生した。最大で海岸から6km内陸まで浸水、〇〇県△△南部、では津波の高さが8m~9mに達している。

タイムスケジュール

地震発生
震度6

余震発生

火災発生

登園途中の
保護者など
パニック状態

園にとどまる保護者や
これから登園する保護者への対応

停電/電話等
回線障害判明

園としての
対応方針決定

8:20

8:30

8:35

8:50

9:00

9:30

10:00

防災訓練用対応ケース集

台風(雨水)災害に関するケース①

災害
種別



テーマ: 豪雨による保育園の孤立という状況で園児の安全を確保する。



【シチュエーション】

- ・ある7月の平日、15時過ぎ。
- ・午睡を終えた子どもたちが起きはじめ、降園時間に近づいている時間帯。
- ・出勤している職員は、ほぼ園内にいる状態。
- ・大雨による園の孤立、保護者からの連絡が切れ目なしに来る状況。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する情報収集

- 8:00 ①台風情報・天気予報を確認
↓
②雨がひどい場合、保護者に登園中止の要請

災害に対する初動訓練

- 12:00 ①施設の点検・安全グッズ・水の用意
↓
②非常用持ち出し袋の用意
↓
③浸水に備え、濡れて困るものは高いところへ移動

防災ハンドバック
“台風・水害が起きたら”
(23P参照)

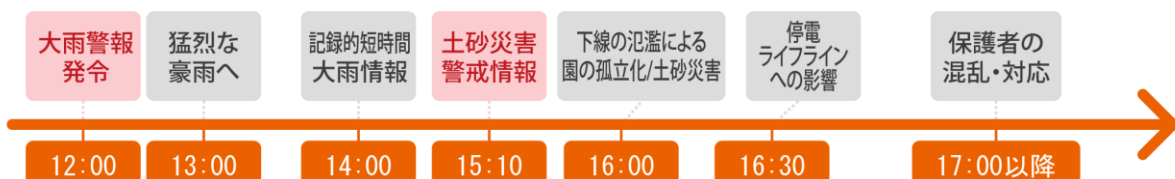
2次的な災害等に対するケーススタディ

- 17:00 ①保護者への引渡し要請連絡
↓
②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討
↓
③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

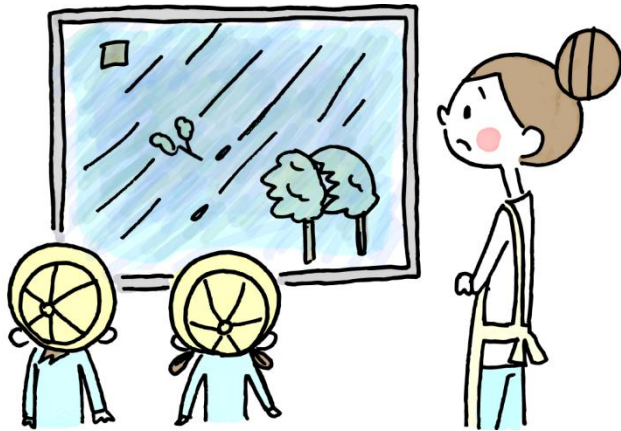
〇〇地方は6月中旬に梅雨入りしたが、7月11日になって地元気象台から大雨に関する警報が発表された。梅雨入り後はじめて出された大雨に関する警報であった。
7月20日になって、梅雨入り後4回目の大雨に関する警報が発表された。
3日後の7月23日は朝からどんよりとした天気であった。12時00分、5回目の大雨に関する警報(大雨警報(土砂災害、浸水害)、洪水警報)が発表された。そして、15時10分には、土砂災害警戒情報が発表された。

タイムスケジュール





テーマ: 台風被害による混乱から園児の命を守る



【シチュエーション】

- ・ある8月の平日17:00、園児の降園時間が近づいているときに、台風が直撃した。
- ・台風の影響で、交通機関が止まり、お迎えにこられない保護者からの問い合わせが多数発生している。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する情報収集

- 18:00 ①台風情報・天気予報を確認
(前夜)
↓
②予報がひどい場合、保護者に翌日の登園中止の要請

災害に対する初動訓練

- 14:00 ①施設の点検・安全グッズ・水の用意
↓
(強風で飛ばされそうなものは屋内に移動)
↓
②非常用持ち出し袋の用意
↓
③浸水に備え、濡れて困るものは高いところへ移動

防災ハンドブック
“台風・水害が起きたら”
(23P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 18:00 ①保護者への引渡し要請連絡
↓
②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討
↓
③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

8月27日17時00分頃、南シナ海から発生した熱帯低気圧が日本列島を直撃した。中心気圧は、1,006hPaで、時速25キロの速さである。台風の影響で国道220号が寸断され、県内の交通機関に大きな障害が出ている。

タイムスケジュール





テーマ: 台風被害による混乱から園児の命を守る



【シチュエーション】

- ・ある10月の平日、11時過ぎ。朝からの豪雨により、登園できない園児と職員が多数発生する。
- ・3割の園児は登園しており、少ない職員で対応しなければならない。
- ・豪雨は、13時くらいにはおさまる予定であるが、11時現在も非常に強い豪雨が発生している。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する情報収集

18:00 ①台風情報・天気予報を確認
(前夜)



②予報がひどい場合、保護者に翌日の登園中止の要請

災害に対する初動訓練

9:00 ①施設の点検・安全グッズ・水の用意



(強風で飛ばされそうなものは屋内に移動)

⋮

②非常用持ち出し袋の用意



⋮

③浸水に備え、濡れて困るものは高いところへ移動



防災ハンドブック
“台風・水害が起きたら”
(23P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

14:00 ①保護者への引渡し要請連絡



⋮

②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討



⋮

③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

10月3日、今朝から降り続く大雨の影響で土砂災害の危険性が高まっている。

11時、町災害警戒本部が避難勧告を発令。

自治会長や広報車を通じて避難を促すと、近隣住民は自治会ごとに指定された一時避難所の公園に集合している。

9時00分、大雨に関する警報(大雨警報(土砂災害、浸水害)、洪水警報)が発表された。

そして、11時00分には、土砂災害警戒情報が発表された。

タイムスケジュール

大雨警報
発令

猛烈な
豪雨へ

記録的
短時間大雨
情報

土砂災害
警戒情報

河川の氾濫に
よる園の孤立化/
土砂災害

停電、
ライフラインへ
の影響

保護者の
混乱・対応

9:00

10:00

10:30

11:00

11:30

13:00

14:00以降

防災訓練用対応ケース集

火災に関するケース①

災害
種別



テーマ: 火災から園児の命を守る。



【シチュエーション】

- ・ある4月の平日、11:00過ぎ、園児たちはお散歩から戻り、お手洗いをしているときに調理室から火災が発生する。
- ・園児、職員は全員揃っている状態である。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

11:25 ①園内での園児の安全確保



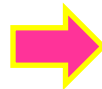
⋮

②安全な場所へ避難



⋮

③園児の安否確認



防災ハンドブック
“火災が起きたら”
(20P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

12:00 ①保護者への引渡し要請連絡



⋮

②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討



⋮

③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

4月11日11時24分頃、自園の給食室から火災が発生する。
油を入れた鍋を火にかけたまま、作業手順を確認するための打ち合わせをしていたための火災であり、給食室からの出火は、保育室にも移っている。

タイムスケジュール

給食室から
火災発生

11:24

保育室
に転火

11:40

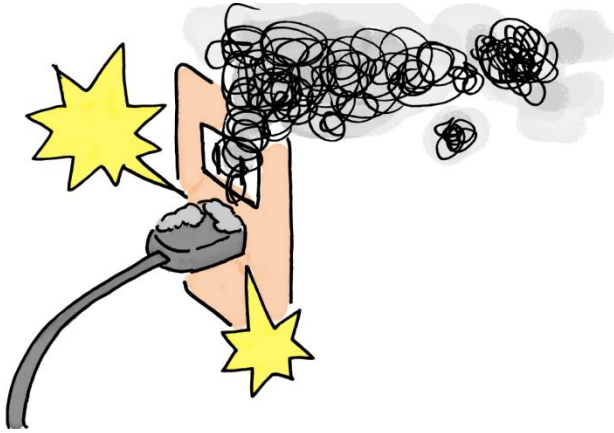
保護者への
引渡し要請

12:00





テーマ: 火災から園児の命を守る。



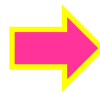
【シチュエーション】

・ある1月の平日、19:00過ぎ、1割程度の園児の延長保育を実施しているときに、使用していない2歳児クラスから火災が発生。室内が乾燥していたこともあり、火の勢いは強く、すぐに隣接している3歳児クラス、1歳児クラスに燃え移っている。お迎え途中の保護者も数名いる状況である。

訓練項目及び重点ポイント

災害に対する初動訓練

- 19:05 ①園内での園児の安全確保
- ↓
- ②安全な場所へ避難
- ↓
- ③園児の安否確認



防災ハンドブック
“火災が起きたら”
(20P参照)

2次的な災害等に対するケーススタディ

- 19:30 ①保護者への引渡し要請連絡
- ↓
- ②保護者への引渡し時の説明方法／内容の検討
- ↓
- ③訓練後の評価考察／次回以降への課題抽出

シナリオ

1月18日、使用していない2歳児クラスの部屋から火災が発生。加湿器の電源プラグをコンセントに長時間差し込んでいたため、コンセントとプラグとのすき間にほこりが徐々にたまっていき、このほこりが湿気を吸ったことによって、プラグの両極間で火花放電が起こり、発熱して発火に至った(トラッキング現象)。

タイムスケジュール

